

●評価規準案 「高等学校 現代政治・経済 新訂版」 (35・清水・政経314)

月	編	学習内容（目次）	評価の観点			
			関心・意欲・態度 【関意】	思考・判断・表現 【思判表】	資料活用の技能 【技】	知識・理解 【知理】
4月		第1章 民主政治の基本原則				
		1 政治とはなにか 2 法とはなにか 3 近代民主政治の発展 4 現代民主政治の展開 5 政治制度と現代の世界	現代の政治についての関心を高め、民主政治の本質や現代政治の特質を意欲的に追究しようとしている。	民主政治の本質や現代政治の特質を多面的に考察し、様々な方法で適切に表現している。	現代の政治の動向に関する資料を様々なメディアを通して集めている。	民主政治の基本原則や民主政治の本質と特質を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。
		第2章 日本国憲法と国民権				
5月		1 日本国憲法制定までの道のり	・国民権を原理とする民主政治の本質が確立されてきた過程を追究しようとしている。	・民主政治の本質が確立される過程について多面的に考察し、様々な方法で適切に表現している。	・国民権を原理とする民主政治の本質に関する資料を適切に収集している。	・日本国憲法が制定されるまでの過程を理解し、知識を身につけている。
		2 日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法における基本的人権の尊重、国民権、天皇の地位と役割、国会、内閣、裁判所などの政治機構について関心が高まっている。	・民主政治の本質や現代政治の特質について多面的に考察し、様々な方法で適切に表現している。	・民主政治の本質や現代政治の特質について理解を深めるための資料を収集し、効果的に活用している。	・日本国憲法は、基本的人権の尊重、国民権を基本原則とする点で国民国家の枠を超えた普遍性を持つことに気付くとともに、民主政治の諸原理や政治制度を理解し、知識を身につけている。
		第3章 日本国憲法と平和主義				
6月	第1編	1 平和主義思想の系譜 2 日本の防衛政策と自衛隊 3 日本の安全保障政策と国際協力	・平和で民主的な社会の実現と推進について客観的に考察しようとしている。	・平和で民主的な社会を形成するための方法について多面的に考察し、様々な方法で適切に表現している。	・平和で民主的な社会を構築するための取り組みに関する資料を収集し、効果的に活用している。	・平和主義思想の歴史を理解し、今日の日本の安全保障政策にはどのようなものがあり、どのような国際協力を行っているのかを理解している。
		第4章 日本国憲法と人権保障				
		1 人権保障の基本原則 2 自由権的基本権 3 法の下での平等	・人類はどのようにして人権を獲得し、今日のように普遍的価値として確立してきたのかということについて関心が高まっている。	・判例に基づき基本的人権に関する課題を考察したり、外国人労働者や難民問題について各種統計調査などを活用して考察し、考察の過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	・判例を活用して基本的人権についての理解を深めたり、再審請求を巡る裁判を分析し、えん罪について考えを深めたり、死刑制度について資料を調べ各国の制度比較しながら考察する。	・近代民主政治の発展過程と関連させながら人権保障の基本原則を理解している。 ・自由権的基本権の内容を判例とともに理解している。 ・平等権の内容を判例とともに理解している。
現代政治		4 社会権的基本権 5 参政権と請求権 6 新しい人権 7 人権をめぐる新たなうごき	・判例に基づき社会権的基本権について関心が高まっている。 ・人権を保障するための権利としての参政権と請求権について選挙権年齢の引き下げなどの具体的事例にそくして関心が高まっている。 ・日本国憲法制定後の社会の変化とともに新しい人権について関心が高まっている。 ・人権の国際化や権利の主体としての国民の位置付けなどについて関心が高まっている。	・法的権利説とプログラム規定説を対比するなど根拠を明らかにしながら国民の生存権をどのように保障していくべきかについて考えている。 ・近代民主政治の発展過程とともに選挙の意義や投票という行為について深く考えている。 ・社会の変化と人権の在り方について考えている。 ・人権の国際化や日本における課題について考えている。	・判例や法令をはじめとする様々な資料を活用して基本的人権について客観的に考える。 ・公職選挙法の改正にともなう様々な意見を集め比較し18歳投票制について考える。 ・資料から社会の変化を的確に捉え判例と照らし合わせながら新しい人権について考える。 ・宣言や条約、法令にあたり人権をめぐる新たな動きの意義を考える。	・社会権的基本権の内容と判例を理解する。 ・参政権と請求権の内容と判例を理解する。 ・新しい人権化の内容と判例を理解する。 ・人権をめぐる新たなうごきの具体例と内容を理解する。
		第5章 日本の政治機構				
		1 国会のしくみと機能 2 内閣のしくみと機能 3 裁判所のしくみと機能	・日本の政治の仕組みについて関心を持っている。 ・国会、内閣、裁判所について、それぞれの特徴に関心を持っている。 ・地方自治について関心を持っている。	・日本の政治機構について特色をまとめ、三権分立の意義について考える。 ・近代民主政治の基盤としての地方自治について特徴と課題を資料に基づき適切に判断する。	・法律の制定過程の資料を見ながら、法案がどのように審議されて法律になっていくのかを読み取る。 ・衆議院の解散の図を見ながら政治のあるべき姿を考える。 ・最高裁が下した違憲判決の資料を見ながら憲法と法律の関係を読み取る。	・国会中心主義について理解している。 ・二院制の機能について理解している。 ・国会の種類について整理して理解している。 ・国会議員の特権を理解し、全国民の代表としてのどのような責務を負っているのかについて理解している。



7月	第6章 現代の日本政治				
	1 行政機能の拡大 2 政党政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の行政機能の拡大に関心を持つ。</li> <li>日本の政党の歴史について関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>官僚支配について理解し、行政の民主化についての考察を深めている。</li> <li>効率の良い行政とはどのようなものなのかについて考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公務員の人数の推移と現状のグラフを見ながら、行政改革との関連を読み取る。</li> <li>1955年以降の政党の移り変わりの資料から、日本の政治を歴史的に読み取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第二次世界大戦後に行政をになう公務員が増加したことを理解している。</li> <li>55年体制とその後の政党の変遷を日本社会の変化とともに理解している。</li> </ul>
9月	3 選挙制度 4 現代民主政治の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の選挙制度や18歳選挙権について関心を持っている。</li> <li>今日の民主政治にはどのような課題があるのかについて関心を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の選挙制度の関する問題点を整理し、一票の格差という視点で課題を論述している。</li> <li>マスメディアの在り方やインターネットの在り方を通して世論とマスコミについて考察している。</li> <li>政治的無関心、市民運動、NPO、市民ネットワークといった様々な動きの中から政治参加について自らの意見を主張している。</li> <li>現代の複雑な社会の中で、どのようにして政治に参加していくべきかを主体的に考察している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一票の格差の資料から日本の選挙制度の課題を読み取る。</li> <li>安保関連法案に反対するデモに参加する人々の写真から参加する人々のメッセージを読み取る。</li> <li>メディアースクラムの写真からメディアの功罪について考察を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公正かつ適正な選挙を保障するためにさまざまなルールが定められていることを理解している。</li> <li>日本の選挙制度の変遷について知り、現行制度の至った背景を理解している。</li> <li>18歳投票制の意義を理解し、主権者として選挙に臨む姿勢の重要性を理解している。</li> <li>現代日本の政治課題を理解している。</li> </ul>
	第7章 国際政治と日本				
	1 国際社会の形成と国際法 2 国際連合と国際協力 3 国際政治の動向 4 核兵器と軍備管理・軍備縮小 5 国際社会における日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会と主権国家について関心を持つ。</li> <li>国際社会の変容について関心を持つ。</li> <li>国際法の意義と役割について関心を持つ。</li> <li>国際社会の分析枠組みについて関心を持つ。</li> <li>第二次世界大戦後の国際関係に関心を持つ。</li> <li>核軍拡と核軍縮について関心を持つ。</li> <li>国際社会における日本の役割について関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェストファリア・システムの変化を捉え今日の国際社会を分析する視点を模索している。</li> <li>国際社会を構成している様々な構成主体の存在を理解し、よりよい社会をどのように作りあげていくべきかについて考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連加盟国の増大を示した西暦別年表から、国連加盟国の変化が及ぼす影響を読み取る。</li> <li>PKOが展開されている主な地域の資料からPKO活動の意義を考察する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会が秩序を保っているしくみを理解している。</li> <li>国際紛争の要因を多面的・多角的に分析し理解している。</li> </ul>

第1章 現代経済のしくみと特質				
1 経済活動の基本概念 2 経済活動の主体 3 市場経済の機能と限界 4 企業の役割 5 経済活動の計測とGDP 6 経済成長と景気変動 7 物価のうごき 8 市場経済にいたる経済体制の変容	・経済および経済活動について関心を持っている。 ・効率公平という考え方に関心を持っている。 ・経済の変化を成長と循環で捉えることに関心を持っている。 ・物価の動向に関心を持っている。 ・経済理論や経済思想に関心を持つ。	・経済とは何かについて、身近な生活と関連させて考えている。 ・効率と公平を同時に保つ難しさを感じ、その中でどのようにして両者のバランスを取るべきかを考えている。 ・経済活動にそくして経済主体の活動内容や役割について考えている。 ・市場を仲立ちにして成立している資本主義経済の特徴や課題について考えている。 ・経済の変化を成長と循環から捉え説明できる。 ・インフレーションやデフレーションがどのような現象かを理解し、それぞれが社会に与える影響について説明できる。 ・物価安定が社会にとって必要な政策であり、それをどのように実現させていくのかについて考察する。 ・今日の資本主義経済に至る経済理論や経済思想の変遷を説明できる。	・個人における経済活動と三つの経済主体の相互関係の資料から経済活動について読み取る。 ・トレードオフの考え方の資料から経済の考え方について理解を深める。 ・国内総生産のうち家計最終消費支出の占める割合の推移の資料から日本経済に占める家計消費の大きさを読み取る。 ・需要量・供給量の変化と価格の関係の資料から価格メカニズムを説明できる。 ・株主総会のような資料から資本と経営の分離がもたらす現代の企業経営の特徴と問題点を説明できる。 ・フローとストックの図から様々な指標を読み取る基本を身につける。 ・国民所得の相互関係と三面等価の原則の資料から国民所得の相互関係と生産・分配・支出の三側面からの見方を読み取る。 ・日本の国富の推移から世界最大の債権国としての日本の位置取りを読み取る。 ・景気循環の4局面と一人あたり実質GDPの資料から経済の変化を成長と循環で捉え説明できる。 ・インフレ率の推移の資料からそれぞれの年代の特徴を読み取る。 ・経済思想の変遷とアダム・スミス、マルクス、ケインズおよびフリードマンの資料から経済理論と経済思想の系譜を説明できる。	・分業と交換について基本的な知識を身につけている。 ・経済主体それぞれと相互の関係についての基本的な知識を獲得している。 ・価格の決め方について理解している。 ・市場の失敗、政府の失敗という概念を理解している。 ・現代の市場における不完全競争の結果起こる様々な現象について理解している。 ・会社が複数の人が出資することで発達するなかで誕生してきたことを理解している。 ・株式会社のしくみについて理解している。 ・所有と経営の分離といった企業経営の形態について理解している。 ・シェアホルダーやステークホルダーといった概念を理解している。 ・フローとストックの概念について理解している。 ・国民所得についての概念を理解している。 ・成長と循環についての基本的な知識を理解している。 ・経済成長を計測する統計について理解している。 ・社会主義経済について理解している。 ・資本主義経済について理解している。 ・ケインズの思想について理解している。 ・新自由主義の考え方を理解している。
第2章 金融と財政のしくみ				
1 金融のしくみとはたらき 2 財政のしくみとはたらき	・金融のしくみやはたらきに関心を持ち理解しようとしている。 ・財政のしくみやはたらきに関心を持ち理解しようとしている。	・金融に関する今日的問題について理解し、どのようにすればよりよい金融政策が実現するのかについて考えている。 ・財政に関する今日的問題について理解し、どのようにすればよりよい財政政策が実現するのかについて考えている。	・信用創造のしくみの資料から預金以外に新たに創造される預金が存在することを読み取る。 ・銀行を中心にみたお金の流れの資料から、日本銀行の果たす役割を読み取る。 ・日本銀行による公開市場操作の資料から金融政策の実際について読み取る。 ・経済安定化機能の資料から財政の機能を説明できる。 ・一般会計 歳入・歳出内訳の資料から日本の財政の現状を読み取る。 ・税収と歳出の推移の資料から日本の財政収支のバランスを読み取る。 ・国債発行額と国債依存度の推移の資料から、日本の財政の現状を読み取る。	・直接金融と間接金融について理解している。 ・信用創造のメカニズムを理解している。 ・中央銀行の機能について理解している。 ・戦後の日本経済における金融の歴史を理解している。 ・財政と財政の機能について理解している。 ・租税について直間比率や累進課税制度について理解している。 ・公債とプライマリーバランスについて理解している。

第3章 日本経済のあゆみと現状				
1 戦後復興と高度成長 2 石油危機とバブル経済 3 バブル崩壊と失われた20年	・日本経済の歴史的変化に関心を持っている。	・第二次世界大戦後の復興期から高度経済成長期の日本経済の特徴を今日と対比させながら説明する。 ・ソフト化サービス化した日本経済がバブル経済に向かう過程について財政政策や金融政策も含めて説明する。 ・バブル崩壊後の日本経済と新自由主義的改革がもたらした影響について今日の日本経済の様子と結びつけながら説明する。 ・サステナビリティの概念を理解し、循環型社会形成の道筋について考えている。	・日本の実質経済成長率の推移の資料から、日本の景気循環を読み取る。	・第二次世界大戦後の経済民主化について明治・大正・昭和戦前期の日本経済とあわせて理解している。 ・第二次世界大戦後の日本経済について、復興、高度経済成長、石油危機、バブル経済について理解している。 ・失われた十年以後、今日に至るまでの日本経済の変遷について理解している。
第4章 福祉の向上と日本経済の課題				
1 労働基本権と労働運動 2 今日の雇用問題と労働条件	・働くことの意義について関心を持っている。 ・労働基本権の考え方を理解しようとしている。 ・社会保障の仕組みを理解しようとしている。 ・社会保障制度の抱えている様々な課題について考えようとしている。 ・中小企業の現状と課題を調査しようという意欲を持っている。 ・環境問題に関心があり解決策を考えようという意欲をもっている。 ・消費者をめぐる問題に関心があり調査しようという意欲をもっている。 ・農業の現状と課題について関心があり調査しようという意欲をもっている。	・働くことの意義を考えている。 ・フリーターやニートの問題を考えている。 ・賃金格差について考えている。 ・労働時間や労働災害について考えている。 ・女性、高齢者、外国人など現代社会の労働問題について考えている。 ・積立方式と賦課方式について理解し、それぞれの特徴と課題を考えている。 ・共生社会を形成するための課題とその克服の方法を考えている。 ・中小企業の現状と課題について考えている。 ・環境問題の現状と課題について考えている。 ・消費者問題の現状と課題について考えている。 ・農業問題の現状と課題について考えている。	・イギリス、アメリカの労働運動のあゆみの資料から労働運動の歩みを読み取る。 ・もしも日本の国民が100人だったらの資料から労働の現状を読み取る。 ・総雇用者数と労働組合推定組織率の推移から労働組合のあり方を読み取る。 ・正規雇用者と非正規雇用者の数と割合の資料から、日本の雇用形態の変化を読み取る。 ・主要国の年間総実労働時間の資料から、日本の労働時間の現状を読み取る。 ・主要国の社会保障にかかる給付と負担の資料から、日本の社会保障の現状を読み取る。 ・中小企業の4つのタイプの資料や中小企業の定義の資料および企業規模による賃金などの格差の資料から、中小企業の現状と課題を読み取る。 ・四大公害訴訟の資料から、提訴内容と判決内容を読み取る。 ・リサイクルに関する法律の資料から、様々な法律が施行されていることを読み取る。 ・悪質商法の具体例の資料から悪質商法には様々な手口があることを読み取る。 ・農家戸数の推移の資料と農業就業人口と65歳以上が占める割合、耕地面積の推移の資料から日本の農業の実態を読み取る。 ・おもな国の穀物自給率の推移の資料から、各国の食料自給率の現状を読み取る。	・世界や日本の労働運動について理解している。 ・労働組合の特徴について理解している。 ・労働基本権について理解している。 ・1985年以降の日本における雇用情勢と雇用形態の変化を理解している。 ・世界の社会保障の流れについて理解している。 ・日本の社会保障について理解している。 ・社会保障の4つの体系について理解している。 ・国民皆保険、国民皆年金について理解している。 ・中小企業の現状と問題について理解している。 ・環境をめぐる問題について理解している。 ・消費者をめぐる問題について理解している。 ・農業をめぐる問題について理解している。
3 社会保障の成立と進展 4 中小企業の現状と問題 5 環境をめぐる問題 6 消費者をめぐる問題 7 農業をめぐる問題				



12月	<div>第5章 世界経済と日本</div> <div>1 国際分業と貿易の利益</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由貿易が世界経済に与える影響について関心を持つ。</li> <li>・外国為替の仕組みやその動向について関心を持つ。</li> <li>・国際経済の動向について関心を持つ。</li> <li>・新興工業国経済について関心を持っている。</li> <li>・持続可能な発展はどのようなものとなるのかについて関心を持っている。</li> <li>・国際経済の中における日本の果たすべき役割について意欲的に考えようとしている。</li> </ul> </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較優位の考え方を活用して、貿易のあり方について考察している。</li> <li>・自由貿易と保護貿易の特色を比較しまとめている。</li> <li>・GATT・WTOについてまとめ、世界貿易の動向について考察する。</li> <li>・国際収支から日本の経済状況を分析しようとする。</li> <li>・経済のグローバル化が意味するところを考察する。</li> <li>・ODAやリスケジュールといった政策を通して、南北問題解決について考えている。</li> <li>・未来のエネルギーの在り方について考察している。</li> <li>・日本が世界経済問題を解決するためにどのようなことができるのかを考えている。</li> </ul> </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分業の利益と自由貿易の資料から、比較優位の考え方を読み取る。</li> <li>・多国間貿易交渉の流れと世界貿易の伸びの資料から、世界貿易の現状を読み取る。</li> <li>・日本の国際収支の変化の資料から、国際収支表の読み方を習得する。</li> <li>・世界の主な地域的経済統合の資料から、FTAや関税同盟のあり方を読み取る。</li> <li>・EUの拡大の資料から、ヨーロッパ経済の発展過程と統合に向けた歴史を読み取る。</li> <li>・成長をつづけるBRICSの資料から、新興工業国の経済発展を読み取る。</li> <li>・世界の栄養不足人口の割合の資料から、栄養不足人口の存在を読み取る。</li> <li>・国別二酸化炭素排出量の資料から、地球環境問題の問題点を読み取る。</li> </ul> </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較優位の考え方を理解している。</li> <li>・自由貿易と保護貿易を比較、整理し、自由貿易を実現させることで富が増大することを理解している。</li> <li>・GATTの自由、無差別、多角の貿易原則について理解している。</li> <li>・GATTからWTOにうつる歴史を理解し、それぞれの特色を整理し理解している。</li> <li>・変動為替相場制のしくみについて理解している。</li> <li>・国際収支表の読み方を理解している。</li> <li>・為替相場の急激な上下動を防止するための様々な政策について理解している。</li> <li>・国際資本移動について理解している。</li> <li>・地域経済統合について整理し、自由貿易の理念と照らし合わせながら理解する。</li> <li>・ユーロについて歴史的、社会的に理解している。</li> <li>・アメリカ経済の動きについて歴史的、社会的に整理し、理解している。</li> <li>・新興工業国経済について理解している。</li> <li>・アジア経済について理解している。</li> <li>・南北問題について理解している。</li> <li>・石油輸出国機構や新国際経済秩序樹立に関する宣言をとおして、多国籍企業と発展途上国が資源をめぐってどのような考え方をしてきたのかを理解している。</li> <li>・発展途上国におけるエネルギー消費量の増加メカニズムを理解している。</li> <li>・地球環境問題の構造を理解している。</li> <li>・持続可能な社会形成を目指す国際社会の取り組みを理解している。</li> <li>・国際経済に貢献する日本の取り組みを理解している。</li> </ul> </div>
-----	---

2・3月

第3編

現代日本の政治や経済の諸課題

1 18歳選挙権から考える政治とはなにか？ 2 社会保障制度は維持可能か？ 3 地域共同体は変貌する地域社会に対応できるか？ 4 働くとはどういうことなのか？	・選挙において投票する意義について関心を持っている。 ・持続可能な社会保障制度の在り方について関心を持っている。 ・自分の住んでいる地域や自分が通っている学校の地域にある様々な課題について関心を持っている。 ・若者をとりまく労働環境に関心を持っている。	・民主政治と選挙の意義について考えている。 ・公費負担と社会保障の関係を理解した上で、日本の社会保障がいかにあるべきかについて考察している。 ・都市部や過疎化した地域における地域共同体の再興について考えている。 ・近年の雇用状況をめぐる急激な変化について理解し、働くことの意義について考えている。	・衆議院総選挙での各党の得票率と議席占有率の資料から民意を反映する選挙の仕組みについて考察を深める。 ・社会保障給付費と社会保障負担の資料から社会保障制度の現状を読み取る。 ・過疎地が全国に占める割合の資料から地域共同体の現状を読み取る。 ・働く目的は何かの資料から、働くことの意義について読み取る。	・政治とは何かについて理解している。 ・民主政治と民主政治を支える選挙制度について理解している。 ・少子高齢化と社会保障のあり方について理解している。 ・身の回りの地域のかかえる諸課題を理解している。 ・労働環境の諸課題を理解している。
5 日本は格差のある社会なのか？ 6 グローバル化する中小企業は世界で勝てるか？ 7 日本の農業に未来はあるか？	・今日の格差問題に関心を持っている。 ・中小企業の在り方に関心を持っている。 ・日本の農業の在り方に関心を持っている。	・日本社会における格差拡大の原因を考えている。 ・中小企業の活躍の事例から、世界の中で勝ち残ることのできる中小企業のあり方について考察している。 ・日本の農家経営のあり方について考えている。	・日本の相対的貧困率と再分配政策の資料から再分配前と後とでどのような変化があったのかを読み取る。 ・起業率と廃業率の資料から中小企業の現状を読み取る。 ・世界の農業生産額の資料から、日本の農業の特色を読み取る。	・日本社会における格差拡大の現状を理解している。 ・中小企業のかかえる様々な諸課題を理解している。 ・日本の農業の現状を理解している。

第2章 国際社会の政治や経済の諸課題

8 リスクのある社会とは？ 9 パリ協定で世界の温暖化対策はすすむのか？ 10 「援助」は途上国のためになっているか？ 11 人種・民族問題に解決はあるか？ 12 国際社会における今の日本の役割とは？	・今日の国際社会がかかえるリスクにはどのようなものがあるのかというテーマに関心を持つ。 ・地球環境問題に関心を持っている。 ・発展途上国に向けての援助の在り方に関心を持っている。 ・人種民族問題の背景にある諸問題に関心を持っている。 ・日本が国際社会にどのように関わっていくべきかという問題に関心を持っている。	・公平な損失負担とはどのようなものかについて考えている。 ・地球温暖化問題の原因について理解し、防止するための政策について考察している。 ・実際に政府開発援助を受けている国の状況について調査・研究している。 ・共生の概念について考えている。 ・軍縮問題をはじめ様々な国際問題に日本はどのように関わっていくべきかについて考えている。	・メキシコ湾での原油流出の資料から、リスクのある社会と私たちがどれだけのリスクを背負うかについて考察する。 ・京都議定書とパリ協定の資料から、地球環境問題を解決するための実効ある取組みを考察する。 ・日本の対ベトナム援助実績の資料から、「援助」が被援助国のためになっているかを読み取る。 ・頻発する人種・民族対立と地域紛争に関する資料から、その対立の複雑な背景を読み取る。	・リスクの変数である「事故の確率」について理解している。 ・地球温暖化問題の諸要因について理解している。 ・政府開発援助の目的・内容について理解している。 ・人種・民族問題が世界各地でおこっていることを理解している。 ・軍縮に関する歴史的社会的な状況を理解している。
--	---	---	---	---